

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月4日

団体名 岡崎市日本中国友好協会

代表者 鈴木 智彦

構成員 43人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

この会は、日中両国民の相互理解と友好を深めることを目的とし、政治、経済、文化、芸術、体育、学術、技術、人事等各分野で交流を促進する。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
8/10	りぶら 101	会員及び一般 市民	29人 (うち会員以 外10人)	中国大連市に工場を持つ法人会員 に日本のメディアが伝えない本当の 中国人の姿を語ってもらった。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

日本のメディアだけを信用していると、偏りが生じ、中国を嫌いになる日本人が多くなる。この講演会の開催により、実際に中国で仕事及び生活をしている人に話をしてもらい、会員以外の一般市民の方たちにも本当の中国人を理解してもらうことができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

① 公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

② 上記の評価をした理由をお書きください。

本当の中国を知る機会を市民に提供できる当該事業は、貴重である。まだ、一般市民の参加者が少ないため3にした。今後は周知に力を入れ、参加者を増やしたい。